

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## スロバキア共和国（証券コード：ー）

### 【据置】

外貨建長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
自国通貨建長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- (1) 約 545 万の人口を擁する中東欧のユーロ採用国。格付は、比較的発展した経済基盤、低水準の政府債務、EU およびユーロ圏の堅固な支援体制を主に評価している。格付の見通しは安定的。20 年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済が落ち込む中で経済対策が実施され、財政赤字や政府債務が大きく増加した。しかし、過去の財政健全化により、経済対策を実施するのに十分な財政余力を有している。感染拡大による影響が収束すれば、経済は堅調に回復し、財政も再び改善へ向かうとみている。
- (2) 19 年の名目 GDP が 893 億ユーロと経済規模は小さいが、一人当たり GDP（購買力平価）が 34,000 米ドルに達するなど比較的発展した国である。経済は自動車産業などへの外国からの直接投資の累積により輸出志向の強い構造となっており、欧州諸国を中心とする主要貿易相手国の景気動向に影響を受けやすい。20 年の実質 GDP 成長率は、欧州経済の悪化や自動車工場の一時生産停止、制限措置の実施を背景とする内需の落ち込みから 5.2%のマイナスになった。内需では投資の落ち込みが大きく、個人消費は政府の経済対策も寄与し小幅な落ち込みにとどまった。感染拡大第二波を受けて 20 年秋以降緩やかな制限措置が導入されているが、先行きはワクチン接種の進展などとともに感染拡大による経済への影響が収束していくとみられる。自動車産業で生産能力増強に向けた投資が計画されているほか、復興基金を含めた EU 基金からの多額の資金流入も期待され、これらが経済の回復をサポートしていくと見込まれる。経済は 21 年には 4~5%の成長へ回復し、その後中期的にも 3~4%の成長を続けるとみている。
- (3) 20 年は外需が悪化する中でも輸出を上回る輸入の減少から貿易収支が小幅な黒字へ転じ、経常赤字は前年から縮小した。中期的には自動車産業の生産能力拡大による輸出増が対外バランスを支えていくと期待される。純対外負債残高（IIP）は 20 年末で GDP 比 60%台と比較的大きいが、直接投資を除くと同 15%を下回る水準に抑えられている。他方、金融システムは安定した状況を維持している。新型コロナ対応として実施されている返済猶予措置の終了後に不良債権が増加する可能性があるものの、銀行部門は安定した収益と高い自己資本水準によりリスクに対する十分なバッファーを確保している。
- (4) 財政は一般政府債務/GDP 比の上限と是正措置の発動を定めた財政責任法の下で慎重に運営されてきた。一般政府財政赤字（ESA2010）は 17 年から 19 年にかけて GDP 比 1%前後に抑制され、一般政府債務/GDP 比は 19 年末に 48.5%まで低下した。20 年の財政収支は、雇用維持のための時短労働スキームや各種手当の支給などの経済対策の実施による歳出の増加を主因に、GDP 比 9%程度の赤字になったとみられる。ただ、19 年末の一般政府債務/GDP 比は JCR が格付ける A レンジの他のソブリンの平均と比べて抑えられており、経済対策の実施を許容できる財政余力を備えている。政府は財政の持続可能性を重視した財政運営にコミットしており、感染拡大の影響が収束すれば再び財政赤字と政府債務の抑制が図られていくとみている。

（担当）内藤 寿彦・佐伯 春奈

## ■ 格付対象

発行体：スロバキア共和国（The Slovak Republic）

### 【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	A+	安定的
自国通貨建長期発行体格付	A+	安定的

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021年3月1日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：内藤 寿彦  
主任格付アナリスト：内藤 寿彦
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「ソブリン・準ソブリンの信用格付方法」（2014年11月7日）として掲載している。
- 格付関係者：  
(発行体・債務者等) スロバキア共和国（The Slovak Republic）
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が公表した経済・財政運営方針などに関する資料および説明  
・ 経済・財政動向などに関し中立的な機関が公表した統計・報告
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、発行体または中立的な機関による対外公表という、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 非依頼格付について：  
本件信用格付は格付関係者からの依頼に基づかない信用格付である。国に対する信用格付である場合を除き、依頼に基づく格付と区別するため格付記号の後に「p」を表示している。格付関係者からは、信用評価に重要な影響を及ぼす非公表情報を入手していない。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものも、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル